

<児童のみなさんと保護者の皆様へ（一緒に見てください）> <終業式の話>

今日は、オリンピック8日目！25日から始まった柔道は、今日最終日を迎えます！と本当は日本中が盛り上がっていた夏休みでした。実際のオリンピックまではあと、357日、パラリンピックまでは389日になりました。新型コロナウイルスの影響でオリンピック、パラリンピックどころではなく、みなさんは新しい生活様式を守って本当に我慢をしながら学校生活を送っています。

「もう嫌だ、何でしゃべってはいけないの？いつまでマスクをするの？」と不満や疑問もたくさんあるでしょう。それでも毎日みなさんの様子を見てきた校長先生は、「すごいな、えらいな」と感心しています。協力をしようとする気持ちをたくさんの方がもっているおかげで、高洲小は、安全安心に生活ができています。本当にありがとうございます。

ただ、辛い気持ちや苦しい気持ちを押し込めて頑張っている人もいたと思います。夏休みは少しゆっくりして、自分の好きなことをやったり家族とお話したりして気分をリフレッシュしてください。

さて、話は変わりますが、オリンピックに出場するはずだった選手たちはどんな気持ちでいるのでしょうか？オリンピックに出るほどの運動の力を持っている人たちの気持ちを「辛いだろうな」などと簡単に言うことはいけないかもしれませんが、何年も何年もこの大会のために努力をしてきた人たちにとっては、そう簡単に気持ちを切り替えたり体の調子を整えたりすることは難しいだろうと思います。

みなさんはオリンピックの目的（めあて）を知っていますか？

オリンピックを通して平和な世界をめざすこと、心と体を鍛え世界の国々の人たちと様々な違いを超えて友情や人とのつながりをもつこと、そして正々堂々と戦う気持ちをもってたがいをわかりあうこととされています。低学年のみなさんには少し難しいかもしれませんが、人々がつながり支えあい、助け合わないとオリンピックもパラリンピックも実現できないのです。

今年の高洲小学校も「つなぐ、つながる、関わる」ことができる学校にしていきたいと校長先生は始業式のときに話しました。

このコロナウイルスの広がっている状況で、難しいかもしれませんが、お友だちと楽しく笑いあっているいろいろなことができる2学期、友だちとつながりあって勉強や活動ができる2学期を願って、夏休みも健康に気をつけて元気に過ごしてください。夏休み明けに会うことを楽しみにしています。

<保護者の皆様へ>

お忙しい中、個人面談においでいただき、本当にありがとうございました。

子ども達一人一人の様子や成長したところ、そして、さらに伸ばしていきたいところ等

を中心に担任より様々な話をさせていただきました。

新型コロナウイルスは収まる気配が見られず、心配が続いていますが、本日1学期が無事に終了できましたのも、ご家庭の協力があったからこそだと思います。学校では出来る限りの対策を講じてまいりましたが、ご家庭での言葉かけや検温、マスクの携帯等のご協力のお陰です。重ねて感謝申し上げます。

例年より短い夏休みですが、子ども達同様、保護者の皆様も健康に十分気をつけてお過ごしください。

1学期間、本当にありがとうございました。2学期もよろしく願いいたします。

校長 石橋 順子